

(株)SRA ホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2020 年3月期 第2四半期決算を発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

なお、「決算付属資料」、「2019 年 10 月 月次売上高速報」も併せて発表しました。

[2020 年3月期 第2四半期業績(連結) 前年同期比]

■売上高=増収

■収益=「粗利益」、「営業利益」が増益。「経常利益」、「四半期純利益」は減益

◎売上高: 204 億 2 百万円 (2.2%増)

・開発事業(4.9%減): サービス業が増加したものの、一部の製造業および金融業が減少

・運用・構築事業(10.7%増): 企業向けおよび大学向けが増加

・販売事業(10.2%増): SRA、AIT、海外子会社の機器販売が増加

◎粗利益: 44 億 83 百万円 (4.4%増)

◎販売管理費: 24 億 14 百万円 (5.9%減)

◎営業利益: 20 億 69 百万円 (19.8%増) 営業利益率: 10.1%(前年同期 8.7%)

◎経常利益: 19 億 57 百万円 (8.5%減) 経常利益率: 9.6%(前年同期 10.7%)

主な要因: 営業外費用(為替差損)の計上

◎四半期純利益: △11 億 31 百万円

主な要因: 特別損失(投資有価証券評価損)の計上

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/ir>

[2019 年 10 月 月次売上高]

(株)SRA=累計で減少。開発事業のリカバリープランを実行中

(株)AIT=堅調に進捗

国内子会社=堅調に進捗

海外子会社=堅調に進捗

<発表資料> [https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index\\_2019.html](https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2019.html)

第2 四半期の業績は、売上高が前年同期比で 2.2%の増収となりました。

粗利益は、利益率向上施策等により増益となり、粗利益率も向上しました。

さらに、2018 年度3Q から連結対象とした Proxim 社の販管費を計上したものの、

Cavirin 社等の販売費の効率化に努めた結果、営業利益が 19.8%の増益となりました。

経常利益は為替の影響等により減益となりました。

また、投資有価証券評価損(評価は「四半期洗替え法」を採用)を特別損失に計上した為、四半期純利益が損失となりました。

第2 四半期につきましては業績予想を修正(10 月 31 日開示)しましたが、通期業績予想は変更しておりません。

なお、今回の損失計上はキャッシュアウトを伴わないため、中間配当金は 1 株につき 40 円〔当初計画通り〕としました。

今後もグループ一丸となり、受注・売上の拡大と共に、収益性向上にも努めてまいります。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。